（地ー様式1）　　平成22年5月1日現在

平成２２年度　地域別施策対応事業一覧表

① 地　域　名	会津地域

No.	1

③施策の展開方向	地域づくりに貢献する新たな観光の推進

④ 重 点 施 策	地域に眠る素材の発掘と磨き上げによる会津ならではの新しい観光商品の開発やグリーン・ツーリズム、エコ・ツーリズムなどにより、滞在型観光を推進します。

⑤ No.	⑥事業名	⑦ 担当機関	⑧事業費（千円）	⑨事業の概要
1	極上の会津キャンペーン	観光交流局、極上の会津プロジェクト協議会	未定	平成17年度に開催された「あいづデスティネーションキャンペーン」で構築された関係機関の連携体制を維持し、会津地域全体の観光振興を図るため、会津・南会津全市町村及び関係団体が「極上のあいづプロジェクト協議会を組織し、会津地域が一体となった誘客宣伝や受入体制の整備、広域連携による周遊・滞在型観光を促進する事業を行う。
2	地域づくり総合支援事業（県戦略事業）	会津地方振興局	834	「（新）会津観光プロデュース事業」 会津地域の食や伝統・文化をはじめ、会津の様々な地域資源を生かした観光を推進するため、テクノアカデミー会津観光プロデュース学科との連携により、新たな会津の観光商品化を目指す。
3	地域づくり総合支援事業（県戦略事業）	会津農林事務所	740	「会津ワーキングホリデー受入体制強化事業」 グリーン・ツーリズムに興味のある集落（地区）を選定し、農家数軒で集落型のワーキングホリデーを実施することにより、都市住民との交流を図るとともに、受入農家の資質向上を図る。
4	ふるさと雇用再生特別基金事業	会津農林事務所	3,583	「（新）奥会津山里体験推進事業」 奥会津地域の都市・農村交流体験メニューの開発や体験実施校と実践団体のコーディネートを行う。

（地ー様式１）

平成２２年度　地域別施策対応事業一覧表

①　地　域　名	会津地域

No.	2

③施策の展開方向	地域づくりに貢献する新たな観光の推進

④　重　点　施　策	会津地域全体に広がる観光資源を生かした交流人口の拡大による地域活性化を図るため、会津縦貫道（会津縦貫北道路、会津縦貫南道路）の整備など、広域的なネットワーク形成による連携軸の強化や会津の魅力の発信による観光交流を推進します。

⑤No.	⑥事業名	⑦担当機関	⑧事業費（千円）	⑨事業の概要
1	国直轄権限代行事業・会津縦貫道（会津縦貫北道路、会津縦貫南道路）	東北地方整備局	未定	会津地域全体に広がる観光資源を生かした交流人口の拡大による地域活性化を図るため、会津地方の南北軸となる会津縦貫道を整備し、広域的なネットワークを形成する。
2	地域活力基盤創造事業・国118号（若松西ﾊﾞｲﾊﾟｽ）	会津若松建設事務所	70,000	会津若松市中心市街地を縦貫する国道118号の恒常的な交通混雑を解消するため、新たなバイパスを整備し、観光資源を生かした交流人口の拡大を図るとともに、磐越自動車道や会津縦貫道などの高速交通体系とのアクセスを強化する。
3	地域活力基盤創造事業(国道121号大峠道路)	喜多方建設事務所	235,945	一年をとおしての安全・安心な通行の確保および喜多方と米沢の広域的な交流・連携の促進や福島県と山形県の観光産業・地域経済の活性化を図る。
4	地域活力基盤創造事業(西小原北町線外1線)喜多方駅前通り	喜多方建設事務所	112,132	喜多方駅前の通勤・通学者や観光客の円滑で安全な通行を確保するとともに、観光都市喜多方の表玄関にふさわしい道路整備を行い駅前地区を含めた中心市街地の活性化を図る。
5	地域活力基盤創造事業（会津若松裏磐梯線　桧原工区）	喜多方建設事務所	147,028	国内屈指の観光地である裏磐梯地区を訪れる観光客や本路線を生活道路とする地元住民の安全で円滑な通行の確保および冬期間通行止めの解消を図る。
6	地域活力基盤創造事業（喜多方会津坂下線　ふれあい通り工区）	喜多方建設事務所	187,863	電線共同溝を施工することにより市街地の安全で快適な歩行空間の確保、都市計画および都市防災性の向上さらに無散水消雪工を施工し冬期間の安全で円滑な通行の確保を図る。
7	元気ふくしま、地域づくり交流促進事業	喜多方建設事務所	16,500	会津の自然、歴史、文化、伝統など地域資源を生かした会津らしいまちづくりを推進するため、地域住民や市町村等との連携・協働によるソフト・ハード両面の取組を支援する。 「会津まほろば街道（会津美里町～会津坂下町～喜多方市）」沿線の地域づくり支援　ほか
8	冬期通行止めの解消(国道459号)	喜多方建設事務所	未定	国道459号の冬期通行止め区間（喜多方市藤沢～見頃間）の円滑な交通確保のため、冬期間の除雪を行う。
9	火山砂防事業（大倉川）	喜多方建設事務所	50,954	降雨出水のたびに河道が変わり、平成元年には死者行方不明者を出す甚大な土砂再学が発生した。このため、床固工や護岸工を施工、海岸浸食防止や河床安定を図る。
10	河川改良事業（高橋川）	喜多方建設事務所	3,150	希少野生生物の保護 高梁川沿川に生息する気象野生生物に配慮した河川改修を行い、自然環境の保全に努める。

（地ー様式1）

平成２２年度　地域別施策対応事業一覧表

① 地　域　名	会津地域

No.	3

③施策の展開方向	地域特性を生かしたさまざまな交流の促進

④ 重 点 施 策	奥会津地域などの過疎化、高齢化が著しく進行する地域に対して、地域経営に必要なさまざまな支援を行います。また、クリーンなエネルギーである水力発電などと地域の共生が図れるよう支援します。

⑤ No.	⑥事業名	⑦ 担当機関	⑧事業費（千円）	⑨事業の概要
1	（新）地域のスクラム応援事業	総務部、会津地方振興局、南会津地方振興局、奥会津五町村活性化協議会	1,300	行財政運営が特に厳しい小規模町村等が共同で設置する広域連携（奥会津五町村活性化協議会）に係る協議会等を支援する。 交付金による支援の内容 協議会の立ち上げ経費及び運営等に要する経費
2	（新）奥会津振興支援事業	会津地方振興局地域連携室、奥会津五町村活性化協議会	未定	奥会津五町村活性化協議会に設置される奥会津振興センターの事業企画面での助言、外部有識者等とのコーディネート等の支援を出先機関横断で実施する。 （地方振興局重点施策推進事業費で実施予定）

（地ー様式１）

平成２２年度　地域別施策対応事業一覧表

①　地　　域　　名	会津地域

No.	4

③施策の展開方向	地域特性を生かしたさまざまな交流の促進

④　重　点　施　策	地域住民が誇りと自信を持てる地域づくり活動や地域資源を生かした地域の再生・活性化の取組みを支援します。

⑤ No.	⑥事業名	⑦ 担当機関	⑧事業費（千円）	⑨事業の概要
1	地域づくり総合支援事業（県戦略事業）	会津地方振興局	1,960	「（新）会津のうまいもの探求事業」 　会津大学短期大学部食物栄養学科との連携により、これまで、あまり知られていない会津地域の美味しい食べ物や地元食材を活用した新たな特産品の発掘や食材の機能性の発見など、地域資源である会津の「食」を広く情報発信することにより、地域活性化を促進する。
2	地域づくり総合支援事業（県戦略事業）	会津地方振興局	876	「（新）会津の田舎暮らし応援事業」 　「空き家・地域情報サイト」における地域の空き家情報の発信や、会津地域における田舎暮らしの姿や移住者の体験談等を盛り込んだパンフレットの作成により、田舎暮らし希望者へ効果的な情報発信を行う。 また、会津地域定住・二地域居住推進連絡会議の開催や首都圏における会津地域合同田舎暮らしセミナーの開催により、管内市町村、関係団体の支援を行うほか、地域の受け入れ体制整備のため、講演会等の開催や推進体制の研究を行う。
3	地域づくり総合支援事業（県戦略事業）	会津地方振興局	512	「西会津高校発地域活性化プログラム支援事業」 　西会津高校の総合的な学習の時間を活用し、生徒が地域の魅力について学び、地域資源を活用した新商品や新事業などについて地域の方等のアドバイスを得ながら研究を行い、提案・発表を行う。 ・地域づくり学習講座 ・企画実習（スイーツ、加工食品） ・研究成果発表会
4	元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業（柳津町柳津地区）	会津若松建設事務所	9,500	福満虚空蔵尊圓蔵寺を中心とした只見川沿いの散策ルートを整備することにより、斎藤清美術館や物産館、道の駅などの地域資源を活用した観光交流人口の拡大を図る。

（地ー様式１）

平成２２年度　地域別施策対応事業一覧表

①　地　域　名	会津地域	No.	5

③施策の展開方向	地域特性を生かしたさまざまな交流の促進

④　重　点　施　策	地域住民の健全な心身や豊かな人間性、郷土愛を育む食育に取り組み、食に関する知識や食を選択する力の習得を支援します。

⑤No.	⑥事業名	⑦担当機関	⑧事業費（千円）	⑨事業の概要
1	（新）ふくしまっ子食育推進ネットワーク事業	学校生活健康課、会津教育事務所	（2,497）	栄養教諭の専門性を各地域で活用するネットワークを構築するとともに、食を要とした生活習慣を改善する取組みや豊かな食育体験を学校種に応じて展開し、学校、家庭、地域の協働による食育を推進する。 ①　食育推進地域検討委員会 栄養教諭が所属する食育推進地域において、栄養教諭が近隣高等学校へ食育の支援を行うとともに、食育推進地域検討委員会や栄養教諭食育推進連絡協議会を開催し、地域や各学校の特性を活かした食育を推進する。 ②農業高校と連携した豊かな食育推進 7地域において、農業高校と近隣の小･中学校が連携を図り、多様な食育体験を実施する。 ③朝食摂取率１００％週間運動 6月と11月に各学校の実態に対応した朝食摂取率向上の取組みを行うとともに、小学生を対象とした「わたしが作る朝ごはんコンテスト」や食育推進実践校表彰を実施する。 ④食育推進ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修会 各学校の課題に応じた具体的な食育推進のため、９地域において、各学校の食育推進ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰと栄養教諭等による研修会を実施する。
2	未来（ゆめ）づくり食育事業	会津保健福祉事務所	33	1食が育む人づくり事業 （1）未来づくり食育計画作成支援事業ー幼稚園・保育園・市町村職員に対しそれぞれの食育計画の作成を支援する。 （2）地産地消と安全の体験学習ーボランティア等の協力のもと幼稚園・保育所で地産地消の体験学習、小中学校へは食の安全等に関する体験学習を実施する。 2選んで食べよう！食育運動ー小学生を対象にバランスのとれた料理の選択方法をバランスビンゴカードを活用して習得し、望ましい食生活を実践できるよう食育運動を行う。

（地ー様式1）

平成２２年度　地域別施策対応事業一覧表

① 地　域　名	会津地域	No.	6

③施策の展開方向	地域特性を生かしたさまざまな交流の促進

④ 重 点 施 策	過疎・中山間地域の安全で安心な生活を支えるため、地域医療の充実に努めとともに、自然災害への適切な対応を図るほか、未改良区間や冬期交通不能区間の解消、代替路線のない地域の生活道路の整備に努めます。

⑤No.	⑥事業名	⑦担当機関	⑧事業費（千円）	⑨事業の概要
1	（新）地域医療再生基金事業（会津・南会津医療圏）	地域医療課	283,720	①地域医療ﾈｯﾄﾜｰｸｼｽﾃﾑ導入事業 地域の中核病院とへき地診療所等との連携を強化し、患者の利便性の向上と患者情報の共有を図るためのネットワークシステム構築のための関係者間の意見調整を行う。 〔参集範囲〕へき地診療所を有する8町村、喜多方市、竹田綜合病院、会津総合病院、宮下病院、南会津病院 ②地域連携ｸﾘﾃｨｶﾙﾊﾟｽ推進事業 地域の中核病院が関係医療機関と連携し、患者入院から在宅等に至るまで切れ目のない治療を受けるための地域連携ｸﾘﾃｨｶﾙﾊﾟｽ（医療計画）の構築に要する経費を補助する。 〔補助先〕会津・南会津医療圏内の病院　〔補助率〕10／10 ③南会津病院機能向上事業 県立南会津病院の機能向上を図るため、マンモグラフィー更新に要する経費を補助する。 〔補助先〕県立南会津病院　〔補助率〕10／10 ④地域・家庭医療ｾﾝﾀｰ機能整備事業 喜多方市において、家庭医の研修及び診療の拠点となる地域・家庭医療センターを整備するために必要な経費を補助する。 〔補助先〕喜多方市　〔補助率〕10／10 ⑤救急ｾﾝﾀｰ機能向上事業 会津中央病院において、救命救急センターにドクターカーを1台整備するため必要な経費を補助する。 〔補助先〕会津中央病院　〔補助率〕10／10 ⑥会津南会津地域医療再生支援ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ事業 地域が一体となって地域医療を守る取り組みを支援するため、医療従事者や地域住民が参加する座談会や検討会を開催する。 〔委託先〕県内NPO　〔内容〕地域医療再生に係る地域の取組支援や、フォローアップ調査等を行い、計画の進行管理を行う。
2	会津医療センター(仮称)整備事業	病院局	3,399,108	・会津医療センター(仮称)の建築・設備工事等を実施する。 ・教育・研究・診療機能を備えた県立医科大学の附属病院として整備する。 ・整備計画 所在地　会津若松市河東町谷沢字十文字及び前田 敷地面積　約52，000㎡　延床面積　約22，700㎡
3	地域医療体験研修事業（（新）奥会津の地域医療人材育成事業）	会津保健福祉事務所(南会津保健福祉事務所)	3,040 うち 2,509 （地域医療再生基金事業） 531 （地域づくり総合支援事業・県戦略事業）	地域医療に関心のある医学生を対象に、地域医療の拠点となるへき地診療所等の現場視察や地域住民との交流など体験の場を提供するとともに、医学部を有する大学に出向いて会津地域の医療の現状や福島県の地域医療に関する取り組み等の説明会を行い、将来の地域医療の担い手の育成を目指す。 〔地域医療ガイダンス〕 6回開催：県立医科大学4回開催、新潟大学、山形大学各1回開催 〔地域医療体験研修〕 夏期（20名程度）、冬期（10名程度）の2回、奥会津地域の病院・国保診療所で実施
4	地域活力基盤整備事業 国道252号（早戸バイパス）	会津若松建設事務所	450,000	過疎・中山間地域の安全で安心な生活を支えるため、国道252号（三島町早戸地内）において、バイパス及びトンネルを整備することにより、代替路線のない地域の生活道路の確保に努めます。

（地ー様式１）

平成２２年度　地域別施策対応事業一覧表

①　地　域　名	会津地域	No.	7

③施策の展開方向	地域企業の強みを生かし、社会環境の変化にも対応した産業の振興

④　重　点　施　策	産学官連携、企業連携などの多種多様なネットワーク組織を支援することにより、産業集積のための基盤づくりを推進します。また、真面目で勤勉とされる労働力などの立地優位性や会津大学等の産学官が持つ研究・技術シーズを生かした企業誘致を推進します。

⑤No.	⑥事業名	⑦担当機関	⑧事業費（千円）	⑨事業の概要
1	（新）会津地域産業活性化協議会支援	会津地方振興局ほか関係機関	未定	会津地域の経済活性化のための当面のアクションプランとして予定されている、関連自治体や有識者等による検討分科会（仮称）での検討を支援する。
2	（新）会津大学ニューテクノロジーセミナー	会津大学	1,300	会津大学が有する研究シーズ、特許等について、教員自らが企業関係者を対象に、実際のビジネス上での実用化を想定した説明会を協定金融機関と協力して開催し、会津大学のもつ技術への理解を図り、それら技術と企業のニーズとのマッチングを図るとともに、説明会を契機として、県内企業のニーズを把握し、コーディネーターを中心に企業の要望に応じた相談を行うなど、適時的確なフォローアップを行いながら、県内企業との産学連携を推進する。 （福島、郡山で各1回/年、計2回/年開催、秋開催へ向けて調整中）
3	（新）会津ITフォーラム２０１０	会津大学	1,500	会津大学を核として、会津の地から県内はもとより全国各地へ、そして世界に向けてITに関する情報発信をすることで、ITの先進地を目指すとともに、ひいては、当該フォーラムを契機とした、地元産業界、教員、学生と全国各地のIT関係者との様々な交流により新たなビジネスチャンスが生み出され、会津大学及び会津地域のIT産業が持続的に発展していくことを目的として開催する。 会津大学を会場として、「クラウド」「スマートフォン」などの最新のITのテーマのほか、ITと関連する「ベンチャーや地域」をもテーマとし、基調講演、分科会、ベンチャー企業によるポスターセッション等を開催する。 （10月中旬開催予定）

（地一様式１）

平成２２年度　地域別施策対応事業一覧表

① 地　域　名	会津地域	No.	8

③施策の展開方向	地域企業の強みを生かし、社会環境の変化にも対応した産業の振興

④ 重 点 施 策	県内一の水田整備率など恵まれた生産基盤や地域資源・特性を生かし、農林業の生産力経営力の強化や農商工連携などにより、地域経済の活性化を図ります。

⑤No.	⑥事業名	⑦担当機関	⑧事業費（千円）	⑨事業の概要
1	（新）ふくしま・地域産業6次化推進事業	会津農林事務所（本庁事業）	(9,651)	・県域ネットワークを設立し、人的交流と連携推進を図るとともに、6次化に関する情報の収集・発信などを行う。 ・地方ネットワークを設立し、事業者同士のマッチング、商品のブラッシュアップなどを行う。
2	（新）県産品加工支援センターによる食品加工支援	商工労働部、農林水産部	未定	食品加工の総合的支援を行う「県産品加工支援センター」の設置を通して、農商工連携の更なる推進や農林水産業の6次産業化を進める。
3	（新）産地生産力強化総合支援事業	会津農林事務所（本庁事業）	(183,816)	「いきいきふくしま農林水産業振興プラン」に基づき、全県的な園芸特産作物の生産拡大とふくしま水田農業改革実践プログラムの加速的な推進を図るため、園芸品目や土地利用型作物の生産拡大、品質向上、産地育成に必要な機械・施設の整備を支援する。
4	（新）基幹水利施設ストックマネジメント事業等	会津農林事務所（本庁事業）	(10,545)	会津地域の農林水産業の生産ポテンシャルを支える農業水利施設のストックマネジメントを基幹水利施設ストックマネジメント事業、地域農業水利施設ストックマネジメント事業、土地改良施設維持管理適正化事業、防災ダム事業、ため池等整備事業により推進する。
5	森林整備加速化・林業再生基金事業	会津農林事務所（本庁事業）	(57,397)	間伐等の森林整備の加速化と間伐材等の森林資源を活用した林業・木材産業等の森林資源を活用した林業・木材産業等の再生を図るため、森林境界の明確化、間伐、路網の整備を実施するとともに、公共施設等への地域材利用を促進する。
6	地域づくり総合支援事業（県戦略事業）	会津農林事務所	1,154	「（新）会津アグリビジネス発掘支援事業」 会津若松市内で奥会津地域の農産物や加工品の販売活動の支援、消費者意識の把握と奥会津地域へのフィードバックを行う。また、農林業等の生産現場等における交流会等を通した地域資源の情報発信と農商工連携促進、消費者モニター等を活用した商品開発とそのブラッシュアップ支援を行う。
7	ふるさと雇用再生特別基金事業	会津農林事務所	12,477	「（新）奥会津地域資源販路開拓・再生推進事業」 ・奥会津特産品のプロモーション活動 ・販売を目的とした農産物の計画的生産、安全安心対策を推進し、消費者ニーズに応じた加工品の開発を誘導する。

（地ー様式１）

平成２２年度　地域別施策対応事業一覧表

①　地　域　名	会津地域

No.	9

③施策の展開方向	地域企業の強みを生かし、社会環境の変化にも対応した産業の振興

④　重　点　施　策	職業能力開発を一層推進することにより、地域経済に適合し、社会や企業のﾆｰｽﾞに対応した人材の育成を図ります。

⑤ No.	⑥事業名	⑦ 担当機関	⑧事業費（千円）	⑨事業の概要
1	会津地域産業活性化人材養成等事業	会津地域産業活性化協議会	未定	会津地域における企業間及び人的ネットワークの強化・拡充を通して、基盤産業である「高度部材産業（ものづくり産業）」のさらなる競争力強化を図るとともに、これからの自動車産業や半導体企業等の企業ニーズに応えていくため、基礎から最新に至るものづくり技術や生産管理、コスト管理等に係る人材の育成を行う。 ①会津ものづくり技術塾　②トヨタ流生産管理人財育成塾 ③CAD設計・技術研修事業　④組込みソフト開発人材育成事業
2	キャリア教育充実事業（専門高校活性化事業）	学習指導課、若松商業高校、会津工業高校、喜多方桐桜高校	(45,976)	農業高等学校、工業高等学校、商業高等学校において、生徒の実践的な知識や技能の向上を図るとともに、地域に定着し、地域産業を担う人づくりのため、キャリア教育を推進する。
3	普通課程訓練事業（テクノアカデミー）	テクノアカデミー会津	(76,219)	テクノアカデミー会津（平成22年4月開校、前身：会津高等技術専門校）において、地域産業の発展を支える技能者の育成を図るため、高校卒業者等を対象に2年間の普通職業訓練を実施する。 電気配管設備科（定員30名）、自動車整備科（定員：20名）
4	専門課程訓練事業（テクノアカデミー）	テクノアカデミー会津	(39,002)	テクノアカデミー会津（平成22年4月開校、前身：会津高等技術専門校）において、急激な技術革新に対応できる高度な知識・技能を備えた産業人材の育成を図るため、高校卒業者等を対象に2年間の高度職業訓練を実施する。 観光プロデュース学科（定員20名）

（地一様式1）

平成２２年度　地域別施策対応事業一覧表

①　地　域　名	会津地域

No.	10

③施策の展開方向	自然環境、景観、文化の保全・継承と活用

④　重　点　施　策	磐梯猪苗代地域や阿賀川・只見川流域に代表される会津の優れた自然環境や景観の保全に努めます。また、猪苗代湖や裏磐梯湖沼群などの水環境の保全に努めます。

⑤No.	⑥事業名	⑦担当機関	⑧事業費（千円）	⑨事業の概要
1	みんなで守る美しい猪苗代湖推進事業	水・大気環境課（会津地方振興局）	6,189	猪苗代湖岸のヨシ群落について、地域住民、事業者、行政、猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会等と協働して、ヨシの刈取りやゴミの撤去などを行い適正な管理を図る。また、各種の水質調査を実施するとともに、猪苗代湖水質保全検討委員会において、これまでの対策に加え、新たな水質改善対策等を検討し、「猪苗代湖及び裏磐梯湖沼水環境保全推進計画」の見直しを行う。
2	（新）猪苗代湖水質モニタリング調査事業	水・大気環境課（会津地方振興局）	938	猪苗代湖におけるpH上昇等の水質変動メカニズムを把握するため、猪苗代湖及び流入河川のイオンバランスやマスバランスの調査及び酸性河川の源流域における水質調査を行うとともに、猪苗代湖の水温や電気伝導率の連続調査を行う。
3	猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境の保全に関する条例推進事業	水・大気環境課（会津地方振興局）	未定	事業場等に対する立入調査を行い、排水基準の遵守を徹底させるとともに、キャンプ場、プレジャーボート施設等の管理者に対する指導と利用者への啓発により、水環境保全の実践と意識の高揚を図る。さらに、猪苗代湖水環境保全関係団体等連絡会議等による水環境保全の取組みを推進する。
4	猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全協議会運営事業	猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会（水・大気環境課）	1,027	国、県、市町村、事業者団体及び地域住民団体からなる協議会において、フォーラムや研修会等の開催、湖岸清掃等の水環境保全実践活動、「きらめく水のふるさと磐梯」湖美来（みずみらい）基金による水環境保全活動団体の支援等に取り組み、猪苗代湖及び裏磐梯湖沼流域の水環境保全対策を推進する。
5	（新）磐梯山ジオパーク推進事業	企画調整部、磐梯山ジオパーク協議会	2,292	磐梯山周辺の観光振興をはじめ、自然保護への理解や環境教育の推進、火山による地域防災意識の高揚など、様々な面での持続的な発展のため、磐梯山の日本ジオパーク認定を目指す取組みを支援する。
6	（新）只見川流域の良好な景観保全のための魅力発見	会津若松建設事務所、会津地方振興局、会津農林事務所	500	「只見川の景観」という地域資源の魅力を高めるため、残すべき美しい風景箇所（強み）と改善が必要な箇所（弱み）を調査し、強みはさらに生かし、弱みを克服するための基礎資料を作成する。また、H23からは基礎資料により、地域特性を生かしたさまざまな交流の促進を図る。

（地一様式1）

平成２２年度　地域別施策対応事業一覧表

①　地　　域　　名	会津地域	No.	11

③施策の展開方向	自然環境、景観、文化の保全・継承と活用

④　重　点　施　策	森林環境の保全とその利活用を図るとともに、農業の持つ多面的機能を生かしつつ、環境と共生する農業を推進します。

⑤ No.	⑥事業名	⑦ 担当機関	⑧事業費（千円）	⑨事業の概要
1	(新)カーボン・オフセット普及促進事業	生活環境部環境共生課	(2,610)	カーボン・オフセットに関する説明会の開催やクレジット申請への支援を行うとともに、、クレジットのニーズ調査を行いカーボン・オフセットの取組みの推進を図る。
2	農地・水・環境保全向上対策関連事業	会津農林事務所（本庁事業）	未定	農地や農業用水等の地域資源や農村環境を守り、質を高めるための地域共同の取り組みと、「環境と共生する農業」の全県的な普及推進を図るため、地域ぐるみで特別栽培等の環境負荷低減技術に取り組む営農活動に対して支援する。
3	(新)有機農業活用！6次産業化サポート事業	会津農林事務所（本庁事業）市町村、土地改良区	(8,846)	エコファーマー、特別栽培等から有機農業へのステップアップを促進し、生産工程管理者数の増加を図るとともに、生産ロットや品目等の需要に対応できる生産体制構築を支援する。 有機農産物のマッチング活動、販路開拓活動や需要情報に基づく生産体制構築への助言等を行う。
4	森林環境税関連事業	会津農林事務所（本庁事業）、市町村等	(137,000)	森林環境税を財源として、森林を県民共有の財産として保全し、健全な状態で次世代に引き継ぐため、「県民参画による森林づくり」を推進する。中でも重点事業として、県営による森林整備事業により荒廃が懸念される水源地域の森林の間伐を推進するとともに、市町村に交付する森林環境交付金により森林環境教育や里山林整備など創意工夫を凝らした森林づくりを促進する。
5	森林病害虫等防除事業	会津農林事務所（本庁事業）、市町村	(41,300)	森林を保護するため、伐倒駆除等により松くい虫をはじめとする森林病害虫等の被害のまん延を防止する。
6	治山事業	会津農林事務所（本庁事業）	(474,196)	公益的機能が特に高い森林を保安林に指定し、その保全事務を行うとともに、山腹崩壊地や荒廃渓流の復旧整備や保安林機能を維持強化するための森林造成等を実施する。
7	林道事業	会津農林事務所（本庁事業）、市町村	(1,190,830)	森林整備・木材利活用の基盤であり、山村地域の生活基盤としても重要な林道の整備を実施する。
8	間伐材搬出支援事業（林内作業路整備事業）	会津農林事務所	4,675	間伐材の搬出に対する支援により、森林の未利用資源の有効活用を促し、資源循環の流れを回復させることにより持続的な森林整備の促進を図る

（地一様式１）

平成２２年度　地域別施策対応事業一覧表

①　地　域　名	会津地域

No.	12

③施策の展開方向	自然環境、景観、文化の保全・継承と活用

④　重　点　施　策	地域に伝わる伝統・文化・技術などの保存・継承と、これらの活用による発展的・創造的な取組みを支援します。

⑤ No.	⑥事業名	⑦ 担当機関	⑧事業費（千円）	⑨事業の概要
1	(新)いきいき地域文化活力創出事業(会津地域実施分)	福島県立博物館、文化振興課	(37,050) うち 30,120	地域の教育力向上や文化・観光・産業等が融合した地域活性化を図るため、県立文化施設6館の連携した取組みや新たな文化創造に向けた取組みを行う。22年度については、会津の伝統的地域文化である漆に着目した「漆の芸術祭」等を開催することとしており、街中の空店舗や展示空間を活用し展示空間を活用し、漆をテーマにしたアート作品の展示を行う。
2	地域づくり総合支援事業(県戦略事業)	会津地方振興局	667	「(新)地域文化のお宝発掘支援事業」 地域に眠っている伝統や文化等の宝を調査するなど、地域文化の再認識を促進し、伝統・文化を活用した地域活性化の資する。また、博物館との連携により、只見川周辺にまつわる様々な伝統、歴史、文化等を分かりやすくまとめた散策マップを作成し、只見川流域の観光振興に資する。